

## ■ オゾンガス除菌データ

CT値が60ppm・minで **99.9%** 以上の除菌効果!!

	ウイルス・細菌	除菌方法	CT値 (ppm×min)	死滅率(減少率) (%)
①	大腸菌	ガス	60	99.99
②	Staphylococcus pyogenes (化膿レンサ球菌)	ガス	60	100
③	Staphylococcus aureus IFO12732(化膿レンサ球菌)	ガス	24	100
④	黄色ブドウ球菌 N20	ガス	60	99.98
⑤	黄色ブドウ球菌 RN2677	ガス	60	99.99
⑥	新型インフルエンザ(H1N1)	ガス	18	99.7
⑦	新型インフルエンザ(H5N1)	ガス	60	100
⑧	Norovirus(ノロウイルス)	ガス	72	100
⑨	Bacillus cereus IFO 13494(セレウス菌)	ガス	24	100
⑩	Vibrio Parahaemolyticus IFO 12711(腸炎ブドウ球菌)	ガス	24	100
⑪	Salmonella typhimurium IFO 14193(サルモネラ菌)	ガス	24	100
⑫	硫化水素	ガス	28	100

※各検証機関 ①②④⑤昭和薬科大学微生物研究室 ⑥北里大学ウイルス科 ⑦厚生労働省及び消防庁 ⑧ビジョンバイオ株式会社  
③⑨⑩財団法人日本食品分析センター ⑪岡山工業技術センター ⑫和歌山市消防本部試験結果

### オゾンの安全性について

- オゾン許容濃度 ※日本産業衛生学会  
許容濃度 0.1ppm(1日8時間 長時間限度)  
許容濃度 0.3ppm(15分以下 短時間限度)
- オゾンの発ガン性  
\*IARC(International Agency for Research on Cancer)にて発ガン物質リストには取り上げられておらず、日本の厚生労働省付属機関にもオゾン自体の発ガン性は報告されていない。  
(\* WHOのガン専門の研究機関 フランスリオン)
- オゾン暴露における皮膚への影響  
1.0ppm24時間10週連続暴露テストにおける皮膚コラーゲン量及び組織に影響は見られない。  
(深瀬・橋本徳島大学医学部教授1982年の日本皮膚科学会論文による)
- オゾンの人体作用メカニズム  
オゾンの人体作用は主として呼吸器系への障害である。呼吸器系に侵入したオゾンガスにより咽頭→器官→気管支→細気管支→肺胞に刺激を与え気道粘膜上皮の繊毛運動を弱減させ気管支炎などを起こす。自覚症状としては鎖骨下部の灼熱感・不快感、咽頭や器官部の刺激感・咳がある。

#### 【本システムご使用の際の注意事項】

- 本システムを安全にご使用いただく為、取扱説明書をお読みにになり、当社担当者による講習をお受けください。
- オゾン除菌中はテント内では必ず専用のオゾンマスクを着用してください。
- オゾンには強い腐食作用があります。一部のゴムや金属は腐食する恐れがあります。除菌の際は事前に当社にご相談ください。

MakMax 太陽工業株式会社 MQ 営業部

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-33-16

TEL:03-3714-3344 / FAX:03-3714-3954

http://www.taiyokogyo.co.jp

特許出願中

MakMax

# オゾン除菌テントシステム

オゾンで  
生命と安全を守る。



必要な時に必要な場所で迅速に除菌作業ができる  
移動可能な除菌ルーム

CT値で、目に見える管理ができます!  
感染症対策・バイオハザード対策・危機管理に!!



太陽工業株式会社

# オゾン除菌テントシステム

近年、新型インフルエンザ、結核、ノロウイルス、口蹄疫等の感染症被害が増大しています。細菌やウイルスから、隊員や従事者の安全を守るための適切な除菌システムが必要です。この”オゾン除菌テントシステム”はエアテント内においてCT値により適切に管理されたオゾン除菌空間を作り、隊員や従事者の衣類や機器類の除菌を迅速に行うものです。

## オゾン除菌テントシステムの優れている点

- エアテント式なので必要な時にどこでも設置、移動も簡単です。
- 100%に近い安定した除菌が可能です。  
※CT値が60ppm・minであれば一般細菌・ウイルスの99.9%以上の除菌が可能
- 短時間での除菌が可能です。  
※10～15分にて除菌終了
- 薬品などの備蓄・補充・保管・管理が不要です。
- 低ランニングコストです。
- 耐性菌を作りません。また、後処理の必要もありません。  
※薬品では耐性菌がしやすい

## 実際に何に使用・活用できるのか

- 緊急・災害時の救命、救援、警察活動を行う隊員や、各業務の従事者の安全確保及び業務維持、また災害の被災者の除菌
- 口蹄疫、生物・細菌テロ、その他細菌・ウイルス汚染地域から非汚染地域への移動時の人体、着衣、備品の除菌による、二次感染の防止
- 病院などの医療機関の建物の内・外に設置し隔離された空間での除菌
- 感染症パンデミックや生物・細菌テロ発生時、社会機能維持業務の従事者の安全確保や、一般企業でのBCP対策

## CT値で、目に見える管理

$$\text{CT値(ppm・min)} = \text{オゾン濃度(ppm)} \times \text{時間(min)}$$

CT値による目に見える管理で、確実なオゾン除菌効果を得ることができます。

※ CT値とは殺菌・不活性効果を示す指標として国際的に認められているもので、ガス濃度と時間の積(濃度ppm×時間min)を表しており、CT値が高いほどその効果は増加し、逆にCT値が低いほどその効果は低下します。

## オゾン除菌テントシステムの使用手順

1. 除菌作業を行う所にテントを運びます。



2. エアポンプで送風します。



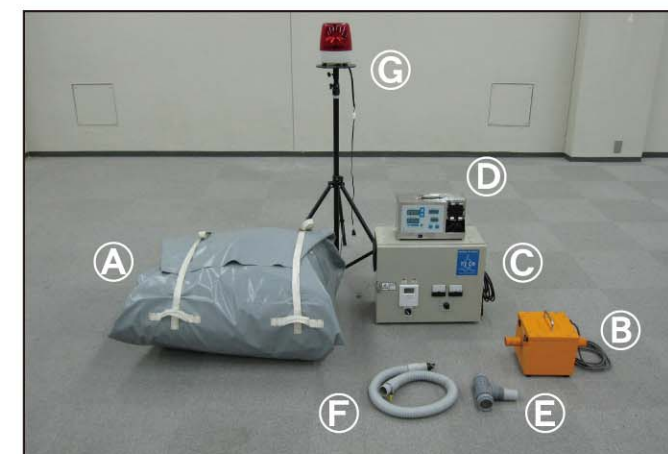
3. 約1分半でテントが立上がります。



4. 機器とダクトを接続し、除菌開始。



5. 除菌中はCT値積算機能付オゾンガス濃度計で管理します。



A	除菌用エアテント
B	エアポンプ/AC100V
C	除菌テントシステム用オゾンガス発生器
D	CT値積算機能付オゾンガス濃度計
E	オゾン分解装置
F	連結ダクト
G	回転灯(三脚付)

C	除菌テントシステム用オゾンガス発生器
	■電源電圧: AC100V ■本体外形寸法: 500(W)×250(D)×400(H)mm ■オゾン発生量: 4g/h ■処理風量: 15ℓ/min
株式会社タムラテコ製	

D	CT値積算機能付オゾンガス濃度計 <b>特許出願中</b>
	■電源電圧: AC100V ■本体外形寸法: 313(W)×135(D)×194(H)mm ■測定濃度範囲: 0.5~10.00ppm ■本体重量: 約3.2kg ■測定方法: センサー方式 (ヒートメタルオキシドサイドセミコンダクタ)
株式会社タムラテコ製	

6. 除菌終了

